

一般質問通告内容

(令和6年定例会9月会議)

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
6	貳又 聖規 (議席番号 10番)	1. 若い世代に「選ばれるまち」、高齢になっても「住み続けたいまち」 (1) ひとの創生 ① 若い世代に「選ばれるまち」としての現状と課題、評価について伺います。 ② 高齢になっても「住み続けたいまち」としての現状と課題、評価について伺います。 ③ 若い世代に「選ばれるまち」、高齢になっても「住み続けたいまち」の3年後の到達点といつまでにどのような町にするのか見解を伺います。 (2) 子供たちが元気に健やかに育つまちづくり ① 妊娠・出産から切れ目ない子育て支援の現状と課題、評価について伺います。 ② 健康づくりにおける具体的な取組や今後の方向性について伺います。 ③ 小中学校の普通教室へのエアコンの設置目標と整備率並びに災害時に避難施設となる体育館への設置についての見解を伺います。 ④ 町立図書館にエアコンが設置されていない理由を伺います。 (3) 白老東高校の魅力化 ① 生徒数の現状と町内中学校卒業生の割合を伺います。 ② 昨年9月の私の一般質問にて、「北海道教育委員会から示されている公立高等学校配置計画案において令和8年度まで2学級を確保できれば現在の定員を維持するものとなっている」とした高校存続に向けた取組状況を伺います。 ③ 上記に同じく、教育長は「町内の子供たちがどれぐらい白老東高校に進学するかという、その割合が非常に北海道教育委員会にとっては大きなバロメーターになっている」とされました。併せて、「しっかりと取り組む」と答弁された町長は、どのような危機感と熱意をもって1年間臨んだのか伺います。

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
6	貳又 聖規 (議席番号 10番)	(4) 外国人材受入支援と共生支援 ① 多文化共生人材育成の推進における現状と課題並びに検証、そして今後の方向性について伺います。 ② 若い世代に「選ばれるまち」に明るい兆しが見えない中、外国人材の活用をすべきであるが、見解を伺います。 ③ 2027 年に開始される「育成就労制度」に対応した施策を講じる考えがあるのか伺います。 ④ 外国籍の人口は、7 月末で合計 382 人となり増加傾向にある。本町における産業の外国人材の現状と課題を伺います。 ⑤ 全体の6割を占めるベトナムやインドネシアの方たちへの私の調査では、生活する上で一番困っていることは、「ごみの分別ルールが分からない」という声です。その課題解決の方策について見解を伺います。 (5) 町道石山一番通りの整備 ① 昨年9月の私の一般質問の町長答弁では、「本線の整備に向け、農業農村整備事業管理計画書を策定し、北海道と協議を進めている」とされておりますが、その後の進捗状況を伺います。 ② 整備額には、道路整備に加えて用地買収や排水整備など多額の事業費を投入することになりますが、一方で、昨年の答弁では、本線を活用する町経済への波及効果として「白老牛の出荷額 13 億 2 千万円、頭数は 1,305 頭」と報告され、企業誘致や加工・食品産業への相乗効果もあり、まちの産業の将来に向け投資すべきと考えますが見解を伺います。 ③ 整備の実現に向けて、北海道との過去からの経緯や町内会及び住民の長年の要望を踏まえて、早期に結論を出す必要がありますが、町長はいつまでに決断をする考えか伺います。 答弁を求める者 町 長